広報 向日市

No. 150 昭和51年12月1日

◎発行 向日市役所（京都府向日市寺戸町中野20）
◎編集 広報広聴課
◎電話 075(931)1111

まちのうごき

（11月1日現在）		（10月中）	
世帯数	14,230世帯	生れた人	88人
人口	47,849人	亡くなった人	4人
男	23,802人	転入した人	391人
女	24,047人	転出した人	328人

お互いの人権を尊重しよう

12月4日～10日「人権週間」

左から　中山委員　鎌田委員　民秋市長　戸倉室長　辻山委員　中埜委員　法務局堀内係長　中村課長

"お互いの人権を尊重しましょう"今月の四日から十日にかけて"人権週間"また、十日は"世界人権デー"となっています。

これに先がけ、さる十一月九日、市では、四人の人権擁護委員と、民秋市長をはじめ法務局の人権擁護担当者ら八人で、日ごろの活動の中から「身近な権利義務のあり方を、振りかえって見よう」と、約一時間半にわたり、懇談会をもちました。

人権とはなにか

司会　初めに人権とはどういうものでしょうか。

堀内　人権とは読んで字のごとく、人の権利です。この権利は日本国憲法に定まっています。ですから日本の国民である以上は、全て権利が保障されているのです。この権利は、単に国が国民に与えるといったものではなく、もともと本来、人間がもっている生活に必要な権利なのです。

司会　では、人権の擁護とは……

堀内　このように憲法によって人権は保障されているのですが、人権とは解釈の範囲が広く、また固定的なものではないので、知らず知らずの間に自分の人権を主張するのをわすれていたり、他人に人権を侵されていても、泣きねいりしている場合が多いわけです。この最低限に保障されている権利を守ろうとするのが、人権擁護なのです。

権利・義務の意識

司会　委員のみなさん、日頃人権について、どのような考え方をお持ちですか。

鎌田　戦前に育ち、結婚して、伝統的な家の制度の中で暮らしてきた親たちと、新憲法のもと、民主的に個人を尊重する家庭で育ってきた若者とは、価値観や、人生観にも意見の違いがでてきて当然でしょう。この違いが親子の断絶や、嫁と姑間のかっとうにつながっているのでは。

中山　新憲法になって、戸籍の面でも、大家族的な戸籍がなくなって、親とは別に戸籍が持てるようになった。それだけで親を見なくてもよいという風潮が最近みられますね。

中埜　でも、核家族化が進んできている中で、若い世代の後継者には扶養能力が低下しているので負担が大きいという面はありますね。しかし、それ以上に親を扶養する義務の意識が低下しているように思います。

中山　また、家の後を継いだ人だけでなく、その他の家族の人も親を扶養するという意識を持つことが大切でしょう。

社会的協調性の欠如

鎌田　人権の概念も、時代や環境の変化によって変ってくるでしょうが、最近の相談の中には、社会的な協調性が欠けている場合が多いですね。

辻山　同感です。自分の主張のみが正しく、他人の意見に全く耳を傾けようともせず、権利のみを主張する人が多いのに驚いています。

中埜　利己主義と人権とのはきちがいが見うけられますね。人権とは、自分だけの特権ではなく同じ特権が周囲の人、全てにあることを認識してほしいですね。

人権擁護のあり方

司会　今後、人権擁護をどのように押進めていくか…

堀内　人権の擁護は、被害者救済的な考え方ではなく、生きがいや意欲を持たすことが大切でしょう。

鎌田　相談の解決にしてもお互いの家庭が円満におさまるように努力していきたい。

家庭のしつけを

中山　家庭生活においては家庭からはみださない教育しつけ、倫理観の確立が大切でしょう。また、社会生活においては、ひとりひとりが他人の意見や相手方の立場に立って、ものごとを考える必要があるでしょう。

市長　人間を尊重することが人権を尊重することになると思います。行政においても、公共の福祉に反しないかぎり、人権を守るという立場で仕事をいていきたい。また、老人をはじめ身体障害者、母子家庭などの方々に生きがいを高めるための施策を追求し、市民のみなさんの福祉全体を向上していくつもりです。

実社会において、健康で幸福な生活がおくれるように行政として対処することが、人権を守ることにつながるものと考えています。

老人問題

司会　老人の人権についてどのようにお考えですか。

中山　私は、今の定年制が問題だと思う。平均余命が延びてきている割には、職場における定年制のしくみは置きざりになったまま。核家族化によって、老人が家庭からはみだされつつある上に、定年によって社会的な使命感の欠如や、社会的な仲間はずれも起ってくる。経済的にも、健康的にも支障をきたす定年制のしくみを国のレベルで改善して欲しいと思う。

定年制の改善

鎌田　以前は、老人になれば隠居しておればよかったが、これから健康な人は、社会の仲間入りを続け、地域社会に貢献するように心を置きかえる必要があるでしょう。

中埜　また老人も、何でもたよるというのではなく、自立精神を持つことや、若い人にとけ込んでいく考え方も大切でしょう。

▼人権擁護委員

委員は法務大臣から委嘱され、任期三年で、市民の基本的人権が犯されることのないように監視し、もし、これが犯された場合には、すみやかに適切な救済処置をとり、常に自由人権思想の普及高揚に努めることが任務です。

席者

人権擁護委員
▽鎌田　正太郎さん
▽中埜五左衛門さん
▽中山　仙三さん
▽辻山　一雄さん

京都地方法務局人権擁護課企画係長
▽堀内　和幸さん

出席

▽民秋市長
▽戸倉企画財政室長
司会
▽中村広報広聴課長

市長日記

"チャッカリの効"

秋の農繁期が過ぎる十月下旬から、全国各地の市町村からの視察が増えてきますし、反対に視察に出かける時期でもあります。

わたしは、視察にみえた方にはできる限りお会いするように努めています。この方々から、全国各地の生の行政に関する情報が得られ、いろいろと参考になることが、数多くあります。

昔から「百聞一見にしかず」といわれていますが、視察先で直接に肌で感じる体験は、たいへんに貴重なものであると思います。ところが、近年は地方財政の危機により、出張旅費を削減していますので、職員の視察は中止にしています。

最近の視察で感じたことは、以前のような物見遊山のものはなく、新潟県五泉市からは、職員研修として二泊三日にわたって、担当職員と意見交換を行ったものまであります。

財政状況が好転したならば、職員研修の一環として視察を復活させ、新規事業や苦慮している事がらを先進地の都市から学び、住民福祉の向上を期したいと考えております。

職員たちは、それまでの間、反対に視察にみえた方から、いろいろの話しを聞き出し、情報を得て、大いに利用させていただく「チャッカリ組」の努力をしています。

このように職員は、なにごとにつけても、身の周りに起こるあらゆる状況を有効に活用する術を身につけて努力していますが、これも地方財政の危機から学んだ一つの成果であると喜んだり、財政危機をけ飛ばすよう励んでいる昨今です。

休日急患診療のご案内について

乙訓医師会では、休日の急病に対応するため、当番制で休日診療所を開設しています。当日の休日診療担当医の案内は、乙訓医師会テレホンサービス（☎九三一―三九〇〇）ですが、電話のかけられる時間は、当日の午前七時三十分から午後六時までです。また、話し中の場合はテープ回転の関係で二分間まってからかけ直してください。

なお、現在、乙訓地域の休日診療充実の資料とするため、休日急患診療実態調査を行っています。アンケートにご協力下さい。

（乙訓医師会）

高血圧・貧血の食事について、右の通り栄養教室を開催します。

高血圧・貧血ともに改善のためには、食生活が重要な役割りをもってきます。どうぞ、お気軽におこし下さい。

▶とき　12月3日（金）　1時30分～4時
（受付　1時～1時30分）
▶ところ　市民会館4階第1会議室
▶内容　高血圧・貧血の食事、試食
スライドと栄養士の話
▶担当　栄養士、保健婦
▶お問い合わせ　向日市保健予防課
☎931―1111（内線232）

チャリティーバーゲン…12月5日（日）午後1時ニチイ向日町店屋上　出品受付は市社会福祉協議会まで　☎932―1960